

平成 29 年 3 月 17 日

データサイエンス・オンライン講座（第 3 弾）  
「誰でも使える統計オープンデータ」  
統計オープンデータの活用編講座の受講者募集開始

総務省は、将来の経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組として、データサイエンス・オンライン講座の第 3 弾「誰でも使える統計オープンデータ」の受講者の募集を開始します。

本講座は、e-Stat（政府統計の総合窓口）などを用い、統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を学習することができます。

- 我が国の国際競争力を強化し、経済成長を加速させるためには、データに基づいて課題を解決する能力の高い人材、いわゆるデータサイエンスを身に付けた人材が不可欠となっています。
- このような状況を踏まえ、総務省は、“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組として、自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義「社会人のためのデータサイエンス入門」及び「社会人のためのデータサイエンス演習」を開講し、延べ 6 万 1 千人を超える多くの方に受講いただきました（これらの講座は、平成 29 年度に再開講予定）。
- 第 3 弾の講座として「誰でも使える統計オープンデータ」の受講者募集を開始します。社会人のみならず、大学生にもおすすめの内容となっており、開講は、平成 29 年 6 月 6 日（火）の予定です。
- この講座は、“データサイエンス”力の向上を目指し、政府統計の総合窓口である e-Stat（イースタット）、総務省及び（独）統計センターが提供する統計 GIS、API 機能等を使い、統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を学ぶことができる内容となっています。  
MOOC（ムーク）型のオンライン講座であり、本講座紹介用ウェブサイト（<http://gacco.org/stat-japan3>）から、受講登録が可能ですので、是非御活用ください。

（別添資料）

- 別紙 1 データサイエンス・オンライン講座（第 3 弾）「誰でも使える統計オープンデータ」の概要
- 別紙 2 データサイエンス・オンライン講座の概要
- 別紙 3 これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座の概要

（連絡先）

統計局統計情報システム課統計情報企画室

担当：吉田課長補佐 丸井係長

電話：03-5273-1023（直通）

FAX：03-3204-9361

E-mail：y-senryaku@soumu.go.jp

講座の目的： e-Stat（政府統計の総合窓口）、統計GIS※1、API機能※2  
を使い、統計オープンデータを活用したデータ分析の基本的な知識を習得する

開 講 日：平成29年6月6日（予定）

学 習 時 間：1回10分程度×5～7回程度（1週間）×4週

課 題：各週の確認テストと最終課題の実施

講 師：西内啓氏（統計家）、小谷祐一郎氏（「GEE0※3」開発者）、  
総務省統計局及び（独）統計センター職員



週	各週のテーマ	内 容
1	e-Statを使ったデータ分析	e-Statの統計データを活用したデータ分析の事例を学ぶ (e-Statの機能紹介、活用事例紹介等)
2	公的統計データの使い方	公的統計データの基本事項及び読み方を学ぶ (公的統計の種類と体系、労働力調査・家計調査の基礎知識及び利用の際のポイント等)
3	統計GIS※1の活用	統計データと地図を組み合わせた統計GIS※1の活用方法を学ぶ (jSTAT MAPの機能紹介、簡単にできるレポート作成、活用事例紹介等)
4	統計オープンデータの高度利用	統計API機能※2の仕組みや具体的な活用事例等の統計オープンデータの高度な活用方法を学ぶ (統計APIの仕組み、統計オープンデータの活用事例、講座のまとめ等)

※1 地図による小地域分析 (jSTAT MAP)

※2 プログラムが自動でデータを取得できるようになる機能

※3 「GEE0 (ジーオ)」は不動産販売価格予測サイト

# 【別紙2】 データサイエンス・オンライン講座の概要

ICTの急速な発展のもと、データに基づく数量的な思考により、課題を解決する能力、いわゆる、“データサイエンス”を身に付けた人材が不可欠。

“データサイエンス”力の高い人材育成により、我が国の国際競争力を強化し、経済成長を加速。  
(「世界最先端IT国家創造宣言」(平成25年6月14日閣議決定)等に基づき推進)



日本政府初のMOOC(ムーク)講座として、自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義「データサイエンス・オンライン講座」を開設(平成27年3月)

講義動画



確認テスト及び最終課題



修了証の発行

講師による説明動画でデータサイエンスを分かりやすく解説

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確認

確認テスト及び最終課題の得点率により修了証を取得

«MOOC(Massive Open Online Coursesの略)»

インターネット上で誰でも無料で参加可能な、大規模でオープンな講義のこと。ビデオ講義と試験やレポート、ディスカッション可能な掲示板を提供し、修了証を発行

講座選び



受講登録



受講



修了証の発行

«日本では»

日本版MOOCの普及・拡大を目指し、「JMOOC」(日本オープンオンライン教育推進協議会)が平成25年10月に発足。26年4月から「gacco」等のサイトで講座を開設。

## 第1弾「社会人のためのデータサイエンス入門」

講座の特徴：データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

開講時期：平成27年3月・11月開講、28年12月開講、同年4月特別開講※

学習時間：1回10分程度×4～7回程度(1週間)×4週

実績：社会人を中心に延べ約43,000人が受講

【内容】 [第1週] データ活用への導入、分析事例から統計的な考え方、データの見方への導入

[第2週] データ分析に必要な統計学の理論的な基礎

[第3週] データの見方についての基本的な方法

[第4週] 誰もが入手可能な公的統計データの入手方法とコースのまとめ

## 第2弾「社会人のためのデータサイエンス演習」

講座の特徴：「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

開講時期：平成28年4月19日開講、同年11月特別開講※

学習時間：1回10分程度×5～6回程度(1週間)×5週

実績：社会人を中心に述べ約18,000人が受講

【内容】 [第1週] データサイエンスとは

[第2週] 分析の概念と事例～Analysis（分析）とは、状況の把握、比較の視点

[第3週] 分析の具体的手法～クロス集計、散布図と相関、時系列データ

[第4週] ビジネスにおける予測と分析結果の報告～回帰分析

[第5週] ビジネスでデータサイエンスを実現するために